

2016年5月8日(日)朝10:10～ 復活節第7、消防訓練・冷暖房入替等  
5月第2母の日共同主日礼拝式説教 日本アライアンス庄原基督教会

## 説教題：アジアにある7つの教会への手紙

聖書:ヨハネの黙示録 1章4～8節

＜口語訳＞

新約聖書386頁

ヨハネの黙示録 1章4～8節

＜新共同訳＞

新約聖書452頁

ヨハネの黙示録 1章4～8節

＜新改訳第3版＞

新約聖書476頁

ヨハネの黙示 1章4～8節＜塚本訳＞

新約聖書777～778頁

主題:主イエス様から賜った聖霊の導き

によって主の弟子たちは、主の名による  
神の罪からの救いを宣べ伝えたように、  
私たちも、福音を伝えたい。

序論；

- ◇ヨハネの黙示録は、1章1節、「イエス・キリストの黙示」とありますように、神の御子イエス・キリスト様が、天使を通して(1)、長老・使徒ヨハネに与えた「神の国到来の奥義」の黙示で、ローマ皇帝ドミティアヌス(81～96)時代に記録されたものと理解されています。
- ◇ヨハネ黙示録1章1～8節は、序言ですが、前半の1～3節は、神の御子イエス・キリスト様の再臨信仰を持って生きるキリスト者への励ましのことばで、「幸福」(3)という表現の中に、ヨハネの思いと黙示の神の御子イエス・キリスト様の思い・愛が込められています。
- ◇ヨハネの黙示録1章4～8節は、序言の後半で、4～5節前半が「祈り、願い」、5節後半～6節が、「神への讚美」、7～8節が、ヨハネの宣言と理解されています。
- ⇒ヨハネは、1章11節で、アジアにある7つの教会に宛てた手紙であることが分ります。
- ⇔ヨハネは、「神への祈り、願い、神への讚美、ヨハネの宣言」を共有することでした。
- ⇒すなわち、「神礼拝をするσέβομαι」の共有です。

本論；

◇本日、ヨハネ黙示録第1章4～8節から主の使信に思い・心をとめます。

◆黙示録1章4～5節a；ヨハネは、父なる神、甦りの主・御子イエス・キリスト様、聖霊なる神への「祈り、願い」をささげています。

◇4～8節；塚本訳◆序言；挨拶

「4 ヨハネからアジヤ(州)にある七つの教会への手紙。願わくは(第一に、今)在り給う(者、昔)在り給いし(者、また後に)来たり給うべき者から、また(第二に、)その御座の前にある七つの霊——(七つにして一つに在し給う御霊)——から、

5a 及び(第三に、死に至るまで)忠実な証人(であり、甦りによって、)死(から生命に生まれる)人(達)の長子(となり給うた者、そしてその故に)また地上の諸王の君侯であり給うイエス・キリスト(——この三方)からの恩恵と平安とが、君達に在らんことを！」と、ヨハネは語っています。

◇4～5節a；「父なる神」、「神の聖霊」、「神の御子・甦りの主」への「祈り、願い」です。

⇒①「父なる神」＝「(今)在り給う(者、昔)在り  
給いし(者、また後に)来たり給うべき者」への  
「祈り、願い」は、神の黙示が、永遠の神に  
よって開示されるようにということです。

⇔「父なる神」は、「神の御子イエス・キリスト様」  
⇒「神の御使い」⇒「ヨハネ」を介して、神の  
黙示を伝達されます。

⇔「父なる神」は、「今日の神のしもべ」へも、神  
の黙示を「永遠の黙示者」として、語ることが  
おできになるので、神の恩恵と神の平安が、  
「神礼拝をするσέβομαι」神のしもべの思いを  
守ってくださるのです。

⇒②「神の7つの聖霊」は、「神の聖霊の自由な  
完璧な働き」を示していると、理解されます。

⇔「神の聖霊」は、「アジヤ(州)にある七つの  
教会」のために、同時進行で、「神の御前」  
で、「祈り、願い」に答え、「父なる神」と「神の  
御子イエス・キリスト様・大祭司」へ執成し  
の祈り、願いをささげて下さるのです。

⇒「神の聖霊」は、ペンテコステの恵みの日には、  
ひとりひとりの神の聖徒120名に降り、内住  
して下さったのです。

⇒③「**神の御子イエス・キリスト様・甦りの主**」は、「**忠実な証人(であり、甦りによって、)死(から生命に生まれる)人(達)の長子(となり給うた者、そしてその故に)また地上の諸王の君侯であり給う**」と、ヨハネは、**神の黙示**を語っています。

⇒「**神の御子イエス・キリスト様・甦りの主**」は、「**忠実な証人(であり、甦りによって、)死(から生命に生まれる)人**」と、その役目が**黙示**されています。

⇒①「**忠実な証人**」の「**証人**μάρτυς」は、「**殉教者**」を意味し、ヨハネの**黙示録3章4～5節**で、**白衣着用の神の勝利者**として描かれています。

⇒②「**神の御子イエス・キリスト様・甦りの主**」は、「**忠実な証人(であり、甦りによって、)死(から生命に生まれる)人(達)の長子(となり給うた者**」とも、描かれています。

⇔「**長子**」は、「**忠実な証人たちの長子**」で、「**神の預言者、大祭司、王**」としての**魁**となって下さったお方という意味です。

⇔**死人の中からの甦り**は、その**保証そのもの!**

◆ 黙示録1章5節b～8節 ;ヨハネは、今、神の御座にいます御子イエス・キリスト様への讃美と信仰告白をささげています。

◇ 4～8節 ;塚本訳 ◆序言 ;挨拶

「5b 願わくは、私達を愛し、その血によって私達を罪から釈き放ち、

6 斯くして私達を(来るべき)王国(の民となし、)その神また父への祭司となし給うた彼に、栄光と権力とが永遠より永遠にあらんことを！ アーメン

7 視よ、彼は雲に包まれて来たり給う。そして凡ての(人の)目が、然り、彼を刺した者らが彼を見るであろう。そして地上のあらゆる種族は、彼の(審判の恐ろしさの)故に胸を打つ(て嘆き悲しみ、後悔する)であろう！ 然り、アーメン

8 「我はアルパである、またオメガである。(我このことの真実なることを証明する」と、(今)在り給う(者、昔)在り給いし(者、また後に)来たり給うべき者、(また)全能の主なる神言い給う」と、ヨハネは語っています。

◇5節b～6節；「私達を愛し、その血によって私達を罪から釈き放ち」、「その神また父への祭司となし給うた彼、御子イエス・キリスト様・甦りの主」への「讚美」をヨハネはささげています。

⇒「神の御子イエス・キリスト様・甦りの主」は、「忠実な証人」であり、「私達を愛し、その血によって私達を罪から釈き放ち」、「神また父への祭司となし給うたお方」とし、「讚美」します。

⇒「神への讚美内容」は、「栄光と権力とが永遠より永遠にあらんことを！ アーメン」と表現されています。

⇔「神の御子イエス・キリスト様・甦りの主」は、神の栄光の右の御座に着座されたお方ですが、ヨハネが、ヨハネの黙示録では、「神のしもべ」徹していますように、神の御子は、罪人に仕え、罪人が負うべき十字架の死さえも背負って下さったので、甦りの勝利者として、「栄光と権力とが永遠より永遠にあらんことを！ アーメン」と、「讚美」をお受けになるのは、ふさわしいことです。

⇒「讚美」は、喜びや感謝の心が不可欠です。

◇7～8節；「彼は雲に包まれて来たり給う」、  
「凡ての(人の)目が、然り、彼を刺した者らが  
彼を見るであろう。そして地上のあらゆる  
種族は、彼の(審判の恐ろしさの)故に胸を  
打つ(て嘆き悲しみ、後悔する)であろう！」、  
「我はアルパである、またオメガである。(我  
このことの真実なることを証明する)」、「(今)  
在り給う(者、昔)在り給いし(者、また後に)  
来たり給うべき者、(また)全能の主なる神  
言い給う」と、ヨハネは、神の黙示のことば宣言  
をしています。

⇒「雲」は、「栄光」を表すもので、「彼を刺した者  
らが彼を見て」、「彼の(審判の恐ろしさの)  
故に胸を打つ(て嘆き悲しみ、後悔する)」と、  
ここでは、先ず神の審判への厳しさが告知  
されています。

⇒その神の審判と共に、ヨハネは、「我はアルパ  
である、またオメガである。(我このことの  
真実なることを証明する)」と宣言される神の  
言を受けて、再宣言しています。

⇒神のイエス・キリスト様の教会の説教は、神  
の言の再宣言、神は、創始者で、完成者です。



## 結論；

- ◇**神**は、変わらない愛と思いやりの神です。
- ◇**ヨハネの黙示録**は、**1章1節**、「**イエス・キリストの黙示**」とありますように、**神の御子イエス・キリスト様**が、**天使**を通して(1)、**長老・使徒ヨハネ**に与えた「**神の国到来の奥義**」の黙示で、**ローマ皇帝ドミティアヌス(81～96)時代**に記録されたものと理解されています。
- ◇**ヨハネ黙示録1章1～8節**は、**序言**ですが、前半の**1～3節**は、**神の御子イエス・キリスト様の再臨信仰**を持って生きる**キリスト者**への励ましのことばで、「**幸福**」(3)という表現の中に、**ヨハネの思いと黙示の神の御子イエス・キリスト様の思い・愛**が込められています。
- ◇**ヨハネの黙示録1章4～8節**は、**序言の後半**で、**4～5節前半**が「**祈り、願い**」、**5節後半～6節**が、「**神への讚美**」、**7～8節**が、**ヨハネの宣言**と理解されています。
- ⇒「**さばき**」は、**神の専権事項、恵み**も、**神の専権事項**、「**神礼拝σέβομαι**」に全力を注ぎたい。
- ⇒「**祈り、願い、讚美、再宣言**」と「**神の愛と恵み**」は、**神のしもべの使命**です。